

学科名	電気通信工学科						
科目名	論理設計						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／選択科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル回路の設計手法や設計ツールについて理解する。(C3)</li> <li>・ICを利用して、簡単なデジタル回路が設計できる。(C3)</li> <li>・デジタル回路の最適設計手法を理解し、簡単なデジタル回路の設計ができる。(C3)</li> </ul>						
日程と内容	9/16 導入講義 9/30 組み合わせ回路 10/7 順序回路 10/17 順序回路の設計 10/17 順序回路の最適化 10/28 順序回路の最小化設計 11/4 順序回路の設計演習 11/11 論理回路の利用例およびAC特性 11/18 ICの使い方 11/28 ICを用いた設計演習1 12/2 ICを用いた設計演習2 12/9 ICを用いた設計演習3 12/16 デジタル回路設計 12/19 演習 1/13 総合演習 1/20 定期試験						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	60%	実技 部外評価 プレゼンテーション	計	100%		
授業到達目標の達成度	合格者については、授業到達目標を達成することができた。						
反省点	本授業は論理回路を利用する手法や論理回路の設計手法に関する演習主体の形式としている。今年度は、演習内容を見直し、応用能力を付ける課題とした。その結果、授業に出席し、演習をしっかりとしている学生については合格したが、講義を休む、演習を自力でしない学生には、厳しい結果となってしまったようである。						
来年度の計画	来年度が、本科目の最終開講年度であることから、履修者全員合格するように演習内容や配付資料を工夫したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.1点であるが、「授業の内容は理解できましたか」が3.7点、「授業内容に興味を持つようになりましたか」が3.7点と、学生は授業内容に興味を持ち、理解できた結果ではないようである。また、「自学自習(授業外の予習・復習)」で週1時間未満が58.1%となっていることは、演習重視で行った授業の結果だと思われる。						
履修登録者数	49名	定期試験 受験者数	44名	合格者数	39名	合格率	89%